

憲法市民ネット

ニュース (第5号)

2005・6・10

憲法をまもる北九州市民ネット事務局

八幡西区黒崎3丁目1番7号日生ビル

4階 黒崎合同法律事務所内

TEL 642-2868

e-mail: mail@kitaq-kenpou.net

一人ひとりの住民に語りかけよう 今こそ、日本国憲法の輝きを広める時!

自民党は、党の改憲の素案を全国的な組織討議を行う場をつくらと報道されています。

憲法九条を形骸化し、自衛隊を軍隊として、アメリカの行う戦争に駆り立て、国民に国防の義務を負わせようとしています。これを許せば、国民の基本的人権も大きな制限がつけられるのです。

日本国民を六十年間、戦争から護ってきたこの憲法を改悪させない運動の強化発展が求められます。九条を中心とする憲法の輝きを地域の中に持ち込み、広めること、そのために、住民一人ひとりに語りかけることが急がれます。

各地で、地域の会が立ち上げ準備

市内各地で、地域の会づくりの

動きが活発化してきました。(別掲)

「憲法をまもる北九州ネット」はこれらの動きを促進するお手伝いをしながら、その交流の場として機能させていきます。情報を、北九州市民ネット事務局にお寄せください。

写真 (5.29、小倉駅前での小倉区民ネットの宣伝)



劇団「青年劇場」
ジェームス三木作・
演出の「真珠の首飾り」上演迫る!
 7月1日(金)
 14時、18時半
 ウエル戸畑
 (大ホール)

地域での具体的な動き

(門司区)

「大積・白野江九条の会(仮)」は、5月28日に「憲法を考える集い」を開きました。

「大里西部九条の会」の結成総会が6月11日(土)に開かれます。(13時大里市民センター)

「門司港地域」でも準備会を重ねて学習会を予定しています。

「門司九条の会」では毎週土曜日に11時から門司港と大里交互に宣伝署名行動を行っています。

(若松区)

「わかまつ九条の会」

会の賛同者は二百六十四名(内団体は四)毎月九日に署名行動。現在千二百二十六筆の署名を集約。5月9日は、若松高校前で高校生を対象の宣伝署名行動。チラシを配りながら百十六筆の署名を集めました。11月3日の文化の日には、市民会館大ホールで大規模な講演会を計画しています。また、地元の版画家の協力を得て会のシンボルマークを作っており、これをバッジなどにして会員に配る計画もあります。

平和、憲法・地域の動き

署名集約

現在の集約では、一万二千五百二十九筆です。毎月末に集約します。各団体からのご報告をお願いします

カンパのお願い

憲法をまもる市民ネットの活動支援カンパをお願いします。郵送料金などの活動費用に充てます。同封の郵便振込用紙での振込みで協力して頂くようお願いいたします。

★予定されている行動★
 6月15日(水) 18時30分
 ウエル戸畑多目的ホール
 憲法をまもる北九州市民連続講座(第5回)
 「憲法と信教の自由」
 (お話)
 有光顕澄氏(浄土真宗本願寺派真行寺住職)
 福島義人氏(日本基督教団小倉東篠崎教会牧師)

憲法市民ネットのホームページアドレス
<http://kitaq-kenpou.net/>

(つげんコラム) 気持ちの良い日

五月三日、憲法記念日は気持ちの良い一日だった。朝刊には(朝日)一面全部使って「九条実現」「憲法九条を変えることにみんなが反対しましょう」と書いた市民意見広告が載っていた。7776人の市民が賛同して作ったと書いている。日本共産党も「憲法の改定に反対です」の一面広告を出している。もう一枚めくると、「憲法総点検インタビュー」があり、憲法学者の樋口陽一氏(東大名誉教授)の発言が載っている。氏は「小泉首相が『戦争に行くのではない』とあれだけ説明しなければならぬのも、ブレアのイギリスと同じ戦闘行動が取れないのも、九条があるから。当初より後ずさりはしているが、規範力は依然持っている」「市民の見地から言えば、いま憲法改正に着手することに賛成できません」と述べた。そして、さらにめくると、憲法全国世論調査が載っている▼午後から、北九州憲法集会に出かけた。「9条のある国に生まれて」と題して、弁護士になって半年の若き女性・溝口史子さんが講演した。若い感覚での憲法の話は、新鮮で、聞く人に感銘を与えた。溝口さんは「憲法が生きている社会、死んだ社会についてのイメージションを持つこと」が大事だと話した▼朝日新聞の全国世論調査では憲法9条についての回答では「変えるほうが良い」は36%で、「変えないほうが良い」は51%だった。年代別に見ると20台では「変えないほうが良い」と答えた人は59%となり若者の護憲の意識の高さに安堵の思いがした。高校生の憲法意識の調査(日高教調査)でも、憲法9条について「変えないほうが良い」が43%で「変えたほうが良い」(12%)の回答の3・7倍であった。若い人たちの憲法についての健全さを見ると、今後の憲法を護る運動の希望が大きくなる。本日に今日は気持ちの良い日となった。(N生)